

9/3 (火) ウエ×ト×シタ

今日は Sikka Asia Foundation を訪問しました。

担当してくれたのは吉田さんという方で、最初に会ったときは完全にタイの人だと思っていて、いきなり流暢な日本語で話し始めたので「違うこの人日本人だった! (ﾟ ㇏ﾟ)」とびっくりしました (笑) ご本人も「そう言われると思ってました」と大笑いされていました。

Sikka は「教育」という意味で、「教育は成功へと導く、可能性を引き出し、成長を促して、地域社会の発展の大きな力となる」を信念としています。主にスラムや少数民族などに対して、図書館設置や奨学金の支給などを行っているそうです。

シンボルマークは目 (瞳孔が地球) で、吉田さん曰く

「教育ということで、本を読むことで視野を広げ、世界を見て欲しいという願いが込められている…と思います。僕は。」
だそうです。

確かにフロアにはたくさんの本があって、中には私が昔読んだことのある絵本もありました。タイ語のシールが貼られていたのですが、うっすらと見える文字を読んでみて、ああこんな話だったなあと思い出に浸ることができてよかったです。

また、クラフトルームで可愛いグッズを見つけたので、お土産と自分用にいくつも買ってしまいました…

その後、クラントイ・スラムの見学に行きました。

テレビや漫画で見るような、ちょっとみずぼらしい風景を考えていましたが、実際は扇風機やテレビがあったり鳥を飼っていたりと、想像以上にライフラインの整った環境で驚きました。

それでも、ゴミ処理がうまく行われていなかったり (清掃車 1 台が週 3 回だけ、キレイにしないと隣近所に迷惑がかかるという概念があまりなく、プラスチックも自然に還ると思っているフシもある)

スラム内やスラム区画ごとにも格差があったり (再開発の手が入っているところや、比較的新しい家)

クラントイ再開発計画が大規模すぎて 30~40 年かかりそうだったり

まだまだ考えるべき問題は山積みなんだなあと思いました。

タイ風ラーメンがお弁当という発想が面白かったです。スープが塩気ありすぎてむせるかと思いました…

午後は 1 日 1 パーツ学校で有名な Duang Pratreep Foundation に行って質問タイムでした。

奨学金システムで、子供たちが小中学校までの教育を受けられるように支援する財団で、原点は寺子屋スタイルだそうです。

教育メインなのであまり質問できませんでしたが、洪水や火災 (特にスラムでは深刻) などの自然災害時には、発生後の人々の生活を支援する活動も行っているそうです。

炊き出し (住民が食べたい食事の提供)、住居確認などの書類作成、子供へのケア、ボートによる救出、など…

「支援の早さをなめるなよ (=日本よりも早い)」的な発言には、その場にいた全員爆笑でした (^O^)

また、女性の存在は地域コミュニティの発展・サポートに大切である、という言葉聞いて、「母は強し」というワードが浮かびました。

そして、またクラフトショップで、1 つだけ残っていたゾウの人形に妙に惹かれてお買い上げ。呼んでいたんです…ゾウが…私を…買ってくれと… (言い訳)

夕方からは Siam にある高級デパート? みたいなところで食事・フリータイムでした。

タイにどんな日本の漫画が売られているのか気になって、紀伊国屋へ行ってみましたが、探していた作品が見つからなくて残念でした。やっぱりメジャーな作品じゃないと翻訳出版されないのでしょうか。日本製の検索機では名前だけ出たのですが。

とりあえず歩き回って、迷って、レストラン街で奮発してタイ料理を食べました。1F (G) にフードコートがあることに気づいた

のは食べ終わった後・・・

やっぱり、私たちのような学生には、こういうお高めのデパートではなくて、MBK のようなタイの若者向けのショッピングモールが合っているんじゃないかなあと思いました。

特にスラムを見てきた後なので、タイの最上層（金持ち）と最下層（スラムなど）の落差が恐ろしかったです。

明日は9時出発なので、気分的に少しゆっくりできてよかったです。

明日もレクチャー&ディスカッションだらけ・・・頑張ります！